

# かけ橋



朝霞台中央総合病院広報誌

## 朝霞台中央総合病院広報誌

朝霞・和光・新座・志木の4市を主な診療圏とし、地域の皆様の健康を共に考えていきます。

- 病院理念・患者様の権利
- 医師コラム「腰部脊柱管狭窄症」
- 経験豊かなスタッフによるチーム医療を提供しています。
- 【各科の紹介 3A病棟 放射線科 総務課】
- 落語の会
- あなたの貴重なご意見をお聞かせください。
- 第1回教育委員会主催「リスクマネージメント」
- グリーンビレッジ朝霞台のご案内

No.2



ホームページ：<http://www.asakadai-hp.jp/>

## 病院理念

高度な医療で愛し愛される病院  
患者様を自分の家族と思う医療

### 理念の実行方法

- ◎地域住民、地域医療機関と密接した医療
- ◎連携組織による24時間救急体制の実施
- ◎何人も平等に医療を受けられる病院
- ◎医療人としての自覚と技術向上のための教育
- ◎最新医療機器の導入による高度な医療

## 患者様の権利

### 1. 良質な医療を受ける権利

患者様には、安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利があります

### 2. 情報を得る権利

患者様には、全ての自己情報を知る事と十分な説明を受ける権利があります

### 3. 自らの意思で決定する権利

患者様には、病院・医師・治療法について選択・拒否・変更する権利があります

### 4. プライバシーが守られる権利

患者様には、医療の過程で得られた個人情報について保護される権利があります

### 5. 尊厳が保たれる権利

患者様には、個人の人格・価値観が尊重される権利があります

### 6. 自由に意見を述べる権利

患者様には、医療に関する異議や要望などを自由に述べる権利があります

### 7. 患者様の責任

患者様には、病院の規則・ルールを守り医療従事者とともに医療に参加する責任があります

### 医師のコラム

## ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう 腰部脊柱管狭窄症

飯田 惣 授

朝霞台中央総合病院 副院長  
日本整形外科学会 専門医

この腰部脊柱管狭窄症という病名を耳にするのは初めてという方が多いのではないのでしょうか。

背骨は単なる身体の柱になっているだけではありません。背骨の中には、手足がその機能を果たすために重要な役割を持つ大切な脊髄と、脊髄から出てきた神経を入れる管があります。この管を脊柱管と言います。脊髄は豆腐のようにやわらかくデリケートなものなのですが、その脊髄は丈夫な骨の管によって様々な外力から守られているのです。この管が何らかの原因で狭くなった状態を脊柱管狭窄と呼びます。特に腰のところで狭窄が起こって、脊髄が圧迫されて脚の痛みやしびれを生ずる病気を腰部脊柱管狭窄症といいます。

主な狭窄を起こす原因は、年をとるにつれて起こる背骨の変形です。背骨にできた余分な骨が脊髄や神経に食い込んだり、背骨がずれたり(すべり症)、背骨をつなぐ靭帯がゆるんで厚みを増し脊髄や神経を圧迫する変形狭窄です。そのため、多くは50歳以降、とくに60歳～70歳くらいで初めて症状に気づかれる方が多いようです。特徴的な症状は長時間の歩行ができなくなる間欠性跛行と呼ばれる症状です。これは安静時には無症状ですが、歩行を続けていると徐々に足の痛みやしびれ感が強くなり、そのうちに歩けなくなり立ち止まってしまうのです。しかし、背中を丸めたり座ってひと休みすれば、すぐに痛みやしびれはなくなり再び歩行ができるようになる少し変わった歩行障害です。

一般に背筋を伸ばした姿勢では脊柱管はやや狭くなるため、神経の圧迫が起こり、逆に背中を丸めた姿勢では少しゆるくなります。

そのため長い時間立っているだけでも足の痛みやしびれがでてくる方もみられます。

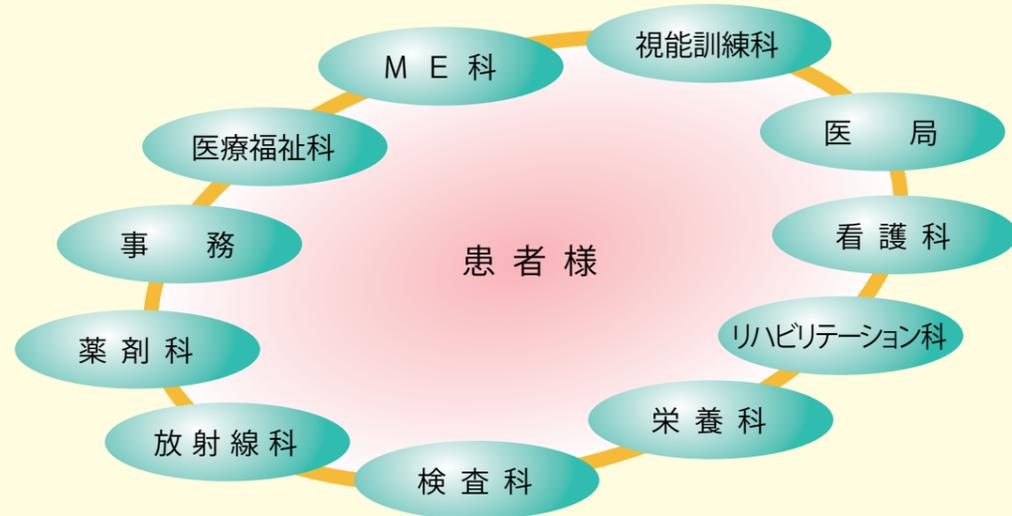
また、乳母車を押したり自転車で移動する際には、自然と腰が曲がった姿勢をとるため症状はでにくくなります。お年寄りが乳母車や、自転車を使用时と移動が楽におこなえるのはこのためです。

症状が進行するとまず歩行能力が徐々に低下し、日常生活でも大きな支障となります。また重症の方では排尿排便の感覚が鈍くなり、失禁してしまう方もみられます。治療は基本的に手術ではなく、内服薬や注射によるブロックが行われます。しかし、症状の重い方、なかでも麻痺症状が進行する方では早い時期での手術が必要となります。近所に外出するのも辛くなるような歩行障害がみられるようになったら、一度、整形外科の専門医を受診することをお勧めします。

ある患者さんの紹介をします。

61歳・男性の森田さん(仮名)は約10年前から、歩行時に両側のお尻から下肢へのしびれ感、痛みに悩んでいました。特に思い当たる原因はないのですが、歩くのがだんだん苦痛になってきました。投薬治療を受けていましたが症状の改善は無く、むしろ悪化したため私のところに相談にみえました。歩行時に出現する両下肢痛のため10メートルの連続歩行も困難でした。「じっとしていれば痛くないのですが、2～3年前からは、50メートルも歩けなくなっちゃんで、ゴルフはやめました。」とのことでした。歩行により両下肢痛が出現し、短時間の休息で軽快する典型的な間欠性跛行の症状がみられました。「このままじゃあ、そのうち歩けなくなりそうです。前の先生にも勧められたけれど、手術を受けた方がいいんでしょうね。」と言われました。精密検査の結果、腰椎で強い神経の圧迫が認められました。覚悟を決めて神経の圧迫除去術を受けた森田さんは、手術後2週間で退院し、3ヶ月後の現在2～3キロメートルの連続歩行が可能となりました。「まだ長く歩くと筋肉痛が出るけれど手術を受けて良かったですよ。知り合いにも同じ症状の人がいて、先生のところで相談してみるように勧めましたよ。」森田さんは、来年の春ゴルフにでも行ってみようかなと歩行練習に日々励んでいます。

## 経験豊かなスタッフによるチーム医療を提供しています。



当院には約500名の職員が勤務しております。  
 病院は医師や看護師などの様々な資格を持った専門職の集まりです。  
 職種によって日々行っている仕事はまったく違いますがすべての職員は患者様が一日も早く回復される事を第一に考え、協力して診療にあたっております。

### 【放射線科 23名】

放射線技師 古滝 実 高瀬 奈緒美

#### ● どんな仕事をしているの？

当院の放射線科施設は一般撮影2室、CT2室、MRI室、透視検査室2室、乳房撮影室、血管造影室とあります。私たちは診療放射線技師として各医療スタッフとの連携で迅速な検査運営と医師、あるいは患者様への正確な医療データの提供を考えて最新の情報の収集や各医師とのコミュニケーションを大切に考えています。

また、近年の患者様ニーズにも答えられるよう女性放射線技師スタッフも暖かい対応を大切にしております。



#### ● 仕事をしていてうれしかった事・楽しかった事は？

現在の私たち診療放射線技師の仕事はほぼ画像情報の提供が主といえます。そして患者様とは検査なども一瞬であり関わり合いが少ない中で、病棟で身動きの出来ない程の重体の患者様へ毎日ポータブル撮影に行く中である日、ご自分で身動きをなさっていた時は病気が良く直ってきた驚きとうれしさを感じます。



### 【3 A病棟 29名】

看護師 新家 梨沙

#### ● どんな仕事をしているの？

私たち3 A病棟の大半は外科的処置・手術を要する患者さまがメインの病棟です。検査・処置手術の前後を通して不安なく受けただけに関わっていきます。摂食・清潔・行動など入院されている患者さまには様々な制限があります。その中で患者さまがより入院生活に不自由がないように、またより早く日常生活に復帰できるように日常生活管理・創傷管理に努めています。



は」といつも励まされます。また術後の患者さまの苦痛に耐えている表情が日を追うごとに笑顔になっていく様や御自分も病気を患って辛い中私たち看護師を気遣ってくださる言葉など日々の忙しい業務の中でも元気の源を頂いています。

外来通院中の患者さまが病棟まで遊びに来てくださった時、他の病棟へ入院したかつての患者さまが病棟へ遊びに来てくださったとき改めて3 A病棟を評価して頂いた気持ちになります。

患者さまが術後や処置後不安や疼痛がある中で懸命に早期離床に努めてくださる姿には「患者

#### ● 仕事をしていてうれしかった事・楽しかった事は？

患者さまが術後や処置後不安や疼痛がある中で懸命に早期離床に努めてくださる姿には「患者

### 【総務課 11名】

総務課 榮嶋 ゆかり

#### ● どんな仕事をしているの？

病院の事務職員と聞くと、受付で勤務している事務員を思い浮かべられると思いますが、受付で仕事をしている医事課以外にも総務課・経理課等があります。

総務課では病院内で使用されている備品の購入や管理、職員の給与計算・労務管理、また、当院では電話交換業務、医局秘書も総務課業務の一部です。様々な専門職が集まる病院の中で、どの部署にも属さない仕事をする、いわゆる『なんでも屋さん』。病院で働くスタッフが気持ち良く、安心して仕事をする事ができるよう『縁の下の力持ち』となる事が、私たちの目標です。

#### ● 仕事をしていてうれしかった事・楽しかった事は？

わたしたちは、患者さんと直接関わる事は、他の職員と比べるととても少ないです。ですが、職員ひとりひとりが日々の業務に専念できる環境作り

をし、やがて多くの患者さんが元気になって帰られることはなによりの喜びです。

また、当院では一緒に働けるスタッフを募集しています。なかには、当院に患者さんとして通院されていた方やそのご家族が、『一緒に働きたい』と応募していただけることもあります。そんな方々の姿を見ることはとてもうれしく、また一緒に働きたいと思っていただける病院となることは大きな喜びです。わたしたちは、患者さんと直接関わる事は、他の職員と比べると



**落語の会のお知らせ**  
 今年も、落語の会を開催いたします！入院患者様も、通院患者様も落語を楽しんでみませんか？  
**【日時】** 平成18年5月27日(土)15時より  
**【場所】** ドック健診センター2階食堂  
**開口一番：** 柳家 こん坊  
**太神楽：** 鏡味 仙三  
**落語：** 柳家 太助

# 落語の会

## 『落語の会』がおこなわれました

5月27日(土)当院食堂にて『落語の会』をおこないました。  
 入院患者様、ご家族をはじめ通院中の患者様など多くの方にご参加いただきました。

『笑いは病を治す』とも言われております。  
 年2回おこなっており、次回は12月頃を予定しておりますので、ぜひご参加ください。



# あなたの貴重なご意見をお聞かせください

より充実した病院づくりのため、患者様からの『直接の声』を受け、その声を活かしたサービス改善を行うことを目的とし、意見箱を設置いたしました。  
 皆様に良い医療の提供・信頼されご満足いただける病院づくりを目指してまいりますので、ご意見・ご要望をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

【設置場所】各病棟ロビー付近・外来



# 第1回教育委員会主催院内勉強会

平成18年2月9日

## リスクマネジメント ～医療事故防止への取り組みから～ 協力 テルモ株式会社



病院において、患者のケアには必ずと言っていいほどリスクが伴っています。治療行為のミス無くすためにチェックを二重、三重と行えば安全性は上がります。しかし、作業に慣れてくると、確認を怠ったり、油断や思い込みが生じてミスにつながる危険性があります。現代社会において医療安全への関心が高まりつつある今日、私たちは治療行為におけるミスの発生を事前に防ぐとともに、万が一起こってしまったアクシデントに対し、いち早く対応策を考えなければなりません。

今回の勉強会では、『医療事故防止への取り組み』と題し、医療事故を防止するためにはどのようにしたらよいか？を人間の本质から考え、チェック方法の具体例や医療事故と医療過誤の違いについてお話して頂きました。

### 人間エラーの分析

- 《人間の弱点》
- ① 錯覚・錯誤があること ←人間のエラーのもと
  - ② 疲労すること(短時間で) ←体力の限界
  - ③ 機能の恒常性に欠けること ←ばらつきがある。正確さの限界
  - ④ 速度・スピードに限界がある ←0.2秒程度の反応時間がある
  - ⑤ 環境に対して許容限界をもっていること。
  - ⑥ 感情に左右されやすい。
  - ⑦ 割合、固定化された生理的リズムをもっていること。
  - ⑧ 居眠り・不注意などの欠点をもつ。
  - ⑨ 情報処理能力の限界 →情報伝達容量の限界
  - ⑩ 計画能力と知覚能力の限界

### 指差呼称の有効性

錯覚	} の防止として 効果あり!!
見間違い	
操作ミス	

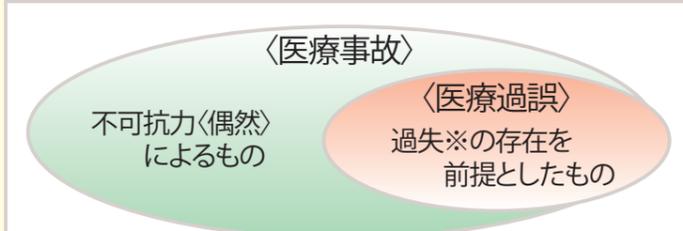
### ☆エラー率☆

指差も呼称もしないことに比べて…

- \* 指差か呼称をすると⇒1/2～1/3に低下
- \* 指差呼称をすると⇒1/6に低下

## 人間の限界

### 〈医療事故と医療過誤〉



※過失： 行為の違法性、すなわち客観的注意義務違反を言う。  
 注意義務は… 『結果発生予見義務』と『結果発生回避注意義務』に分けられる。

### 事故発生直後の対応原則!!

- まず、患者の安全を確保すること
- 報告し、指示、サポートを得ること
- 記録しておくこと
- 誠実に対応すること

対応に最善を尽くすこと!



介護老人保健施設  
**グリーンビレッジ朝霞台**  
 Green Village Asakadai

介護老人保健施設(老健)の理念

介護老人保健施設(老健)は、ご利用者の自立した生活の営みを支援し、家庭復帰をめざします。また、施設は明るい家庭的な雰囲気を持ち、地域と家庭との結びつきをめざします。

平成18年8月のオープンを目指し、順調に工事を進めております



- 名称：介護老人保健施設グリーンビレッジ朝霞台
- 住所：埼玉県朝霞市大字宮戸3番地
- 開設：平成18年8月1日(予定)
- 構造：鉄筋コンクリート地上4階
- 定員：入所150名(うち認知症50名)  
通所40名
- 療養室：ユニット型個室30室  
4人室30室

ご利用に関するお問い合わせは・・・  
 グリーンビレッジ朝霞台開設準備室  
 TEL 048-486-6622



**A+** 朝霞台中央総合病院

〒351-8551 埼玉県朝霞市西弁財1-8-10  
 TEL. 048-466-2055(代) FAX. 048-466-2059

■標榜診療科目

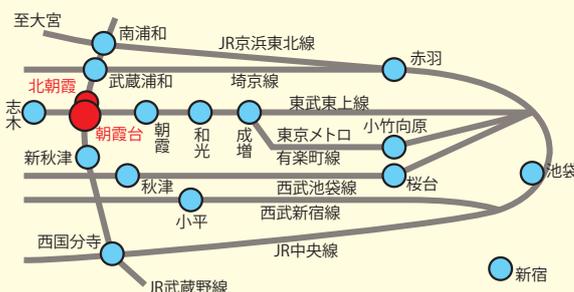
内科 外科 小児科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科  
 耳鼻咽喉科 婦人科 形成外科 麻酔科

■診療時間／ 平日9:00～12:30 14:00～18:30  
 土曜9:00～12:30 14:00～17:15  
 (各診療科により診療時間が異なります)

■外来休診日 日曜、祝日・年末年始(12/30 PM～1/3)、診療科により土曜日

■救急外来 緊急の患者様は24時間受付しています。  
 専門医が不在の場合もあります、電話にてご確認ください。

■路線図



■最寄駅からのアクセス

東京メトロ有楽町線/和光駅経由 東武東上線 朝霞台駅下車 徒歩3分  
 東武東上線/朝霞台駅下車 徒歩3分  
 JR武蔵野線/北朝霞駅下車 徒歩3分

■お車でのアクセス

川越街道より水道道路経由約10分  
 関越自動車道 所沢インターより約20分  
 外環自動車道 和光北インターより約15分

■近郊のアクセス

池袋駅より約17分/川越駅より約12分  
 南浦和駅より約10分/新秋津駅より約10分